一般財団法人京都ユースホステル協会

2018年度事業報告書

期間：２０１８年４月１日～２０１９年３月３１日

“**Say Hi to the world** ー旅の持つ力ー”

若者が世界（旅）の扉を開けて　学びや発見に出会うために

ユースホステルはいつも彼らを応援します

〒616-8191　京都市右京区太秦中山町 29　宇多野 YH 内

TEL: 075-462-2312　FAX: 075-462-2289

URL: http://www.yh-kyoto.or.jp　E-mail: kyh@yh-kyoto.or.jp

目 次

目　次 …… 3

はじめに …… 4 - 5

数値目標達成状況 …… 6

事業活動概況

I.　ユースホステル活動 …… 7 - 9

II.　ユースホステル関連活動 …… 10 - 11

III.　宇多野ユースホステル（指定管理事業） …… 12 - 15

IV.　天橋立ユースホステル（指定管理事業） …… 16 - 17

V.　組織運営 …… 18

財務状況 …… 19 - 20

（別添資料）　公益目的支出計画実施報告書

2018 年度事業別詳細資料

はじめに

2018 年度は、京都ユースホステル協会財団設立 50 周年を迎えるとともに、宇多野ユースホステルも 2008 年 7 月の全面改築オープンから 10 年を迎えました。

一方、京都におけるユースホステルを取り巻く環境は、旅行者のニーズや旅のスタイルの多様化、競合施設の増加など、京都への旅行者が増える一方で運営環境は厳しくなっております。

こうした社会状況や旅行者の変化に対応しながら、時代に支持されるユースホステルの価値や魅力、特色をさらに伸ばし、ユースホステル活動や青少年活動の飛躍の年とする為に取り組みを行ってまいりました。

50 周年記念事業や式典の開催の他、ユースホステルが持つ世界的なネットワークや多様な団体、専門機関、活動者との連携をいかしたドイツへの指導者派遣研修や事業、施設運営、サービスの向上など、海外を含めた取り組みを学ぶと共に、利用者や活動者の目線での長期修繕積立金などを活用した施設の改修や改善、魅力の向上など、2018 年度の目標達成に向けた取り組みは、十分な成果を生み出すには至りませんでした。

しかし、旅の環境変化や厳しい運営環境は、今後も続くことが予想され、こうした変化のスピードに遅れることなく人材の育成や組織、運営の改革・改善に引き続き取り組んでまいります。

また、2018 年度に掲げておりました

- **若者に向けた出会いや交流のプログラムの開発・提供**
- **50 周年記念事業の実施**
- **多様な雇用形態の検討と核となる人材の育成**
- **天橋立ユースホステルの経営プランの策定**
- **宇多野ユースホステルの指定管理者再選定の獲得**

など、無事達成できたものもありますが、天候不順を含めて開催中止や天橋立ユースホステルの経営プランなど、見直しを余儀なくされたものもあり、数値目標の達成においては、ユースの運営において厳しい内容となりました。

6 月の大阪北部地震や台風などの自然災害の影響があったものの、それ以上に新たなシステムの活用やプロモーションの取り組みなど、これまでとは違った新しい手法の活用を含む変化への対応の遅れなどが考えられ、次年度の運営状況改善に向けた具体的な対応を急いでおります。

部門や事業別の枠を超えた人材や資源、知恵の集中を進め、より組織の力を引き出す取り組みを急ぎ進めてまいります。

ユースホステルの実績については、宇多野ユースホステルにおいては、前年度比で 11.3%の減少（外国人は 20.3%減）、天橋立ユースホステルにおいては、6.9%減（外国人は 23.2%減）と厳しいものとなりました。

また、事業活動については、まいまい京都など前年度実績を達成すると共に、50 周年事業記念事業についても台風の影響等で中止するものもありましたが、親子や中高校生、大学生を対象とした記念事業を実施することができました。

50 周年式典については、多くの皆様にご参加いただき無事開催することができました。2019 年度からの宇多野ユースホステルの指定管理の再選定については、次期管理者として選定されました。

天橋立ユースホステルについては、宮津市の財政削減や健全化への取り組みなどにより、指定管理での運営を終了しましたが、京都北部や日本海エリアでのユースホステルの拠点として、また、地方での持続可能なユースホステルの運営につなげるため、宮津市との施設無償貸与によるユースホステル運営を 2019 年度も行うことで合意し、新たな運営方法の工夫や改善を行いながら、次につながる運営を行ってまいります。

決算につきましては、ユースホステル運営での収入の減少が響き 2018 年度の総収入は、198,404,625 円（前年同期比 10.6%減）、利益は-4,209,503 円の赤字と大変厳しい結果となりました。利用回復等による収入の増加を図ると共に、業務の効率化を進め、経費の削減に努めてまいりますので、今後の取り組みへのご理解、ご支援につきましてお願い申し上げます。

専務理事　髙田光治

【利用実績の前年同期比比較】

期　間	宇多野ユースホステル		天橋立ユースホステル	
	宿泊者数	内外国人	宿泊者数	内外国人
4 月から 6 月	5.3%減	3.3%減	29.5%増	77.3%増
7 月から 9 月	18.1%減	22.4%減	24.0%減	78.2%減
10 月から 12 月	10.2%減	9.3%増	0.8%減	8.2%減
1 月から 3 月	1.6%増	19.2%増	19.6%減	28.9%増

数値目標達成状況

（１）事業・取り組み

事業活動	目標設定項目	目標値	実績値	達成度
ＹＨ活動	イベント参加者数	21,000 人	24,549 人	116.9%
	青少年イベント参加者数	5,500 人	6,720 人	122.2%
ＹＨ関連活動	夕食提供数	22,000 食	19,321 食	87.8%
	朝食提供数	32,500 食	28,172 食	86.7%
	満足度アンケート（夕食）	4.50 点	4.54 点	100.9%
	満足度アンケート（朝食）	4.50 点	4.58 点	101.8%
宇多野ＹＨ	宿泊実績	40,200 人	35,392 人	88.0%
	外国人宿泊実績	12,060 人	10,014 人	83.0%
	青少年宿泊実績	26,130 人	24,456 人	93.6%
天橋立ＹＨ	宿泊実績	3,400 人	2,760 人	81.2%
	外国人宿泊実績	850 人	701 人	82.5%

（２）収支状況

	一般会計 建設基金	物頒会計	宇多野会計	天橋立会計	総　合
予　算	▲4,478,000 円	6,537,000 円	0 円	0 円	2,059,000 円
実　績	▲3,720,173 円	7,703,096 円	▲5,515,160 円	▲1,807,331 円	▲3,339,568 円
差　額 （対予算）	757,827 円	1,166,096 円	▲5,515,160 円	▲1,807,331 円	▲5,398,568 円

事業活動概況）Ⅰ．ユースホステル活動

（1）　目標と達成状況

■（目標）年間イベント・事業活動参加実績：延 21,000 名
（結果）年間イベント・事業活動参加実績：延 24,549 名（目標達成率：116.9%）

■（目標）年間青少年対象事業活動参加実績：延　5,500 名
（結果）年間青少年対象事業活動参加実績：延　6,720 名（目標達成率：122.2%）

■（目標）新しい団体向け交流企画の提供：3 企画以上
（結果）新しい団体向け交流企画の提供：提供までは至っていない。

（２）トピックス

１．財団設立50周年記念事業の実施

財団設立 50 周年という節目を迎え、記念事業の実施や記念誌の発行、そして今までご支援ご協力いただいた方々や今後関りを持っていきたい方々をお招きしての記念式典及びパーティーを開催しました。ご来賓の方々はじめ大勢の方々にご出席いただき、改めてユースホステルの活動や意義をご理解いただきご支援いただく機会となりました。

●財団設立 50 周年記念式典・パーティーの開催

開 催 日：2018 年 11 月 13 日（火）
出席者数：168 名 ／ 場所：からすま京都ホテル

●財団設立 50 周年記念冊子の発行

カラーA5 サイズ ／ 26 ページ

●財団設立 50 周年記念事業の実施

『親子の社会科見学・京都市役所探検ツアー』

小学生とその保護者を対象として普段訪れることの少ない市役所を訪問しました。

開 催 日：2018 年 8 月 20 日（月）
参加人数：27 名 ／ 場所：京都市役所

『中高生ジュニアインターンシップ体験』

6 泊 7 日ユースホステルに住込しながら様々な人と一緒に仕事をする社会体験をしました。

実施期間：2018 年 8 月 16 日（木）～22 日（水）
参加人数：3 名 ／ 場所：宇多野ユースホステル

『海外ユースホステル・インターンシップの派遣』

大学生を対象にユースホステル発祥の地ドイツで 2 週間ユースホステル運営に携わりました。

実施期間：2018 年 9 月 1 日（土）～15 日（土）
参加人数：2 名 ／ 受入施設：ドイツ・フロンデンシュタットユースホステル

２．市民も楽しめる宇多野ユースホステルのイベント企画

宇多野ユースホステルの認知度向上と市民と旅人との交流を図るイベントを実施しました。

『スラッグライン体験』

ベルト状のラインの上でバランス感覚や集中力などを鍛える新スポーツの体験会を実施。

開催日：2018 年 4 月 29 日（日）／参加人数：32 名

『泊まれる“モノノケ市”』

“妖怪”をテーマとしたお祭り企画。昼間はフリーマーケット、夜は出展者との交流会を実施。

開催日：2018 年 6 月 23 日（土）／参加人数：延 250 名

『オータム音芸（おんげい）ナイト 2018』

秋の夜長に世界の音楽やパフォーマンスイベントを楽しむイベントを 10 日間開催。京都三大狂言のひとつ「嵯峨大念仏狂言」も披露いただきました。

開 催 日：2018 年 11 月 20 日（火）～12 月 1 日（土）

参加人数：延 265 名

３．好調なまち歩きイベント「まいまい京都」

年間実施回数も 700 コース、参加者も 1 万 2 千人を超え、引き続き好調に推移しています。協会の旅行業を使った日帰りバスツアーや水上バスツアー等も実施しました。

2018 年度は日本政府観光局等が国内外ツーリズムの発展・拡大に貢献した取り組みを表彰する「第 4 回ジャパン・ツーリズム・アワード」におきまして、国内・訪日領域 地域部門で入賞いたしました。

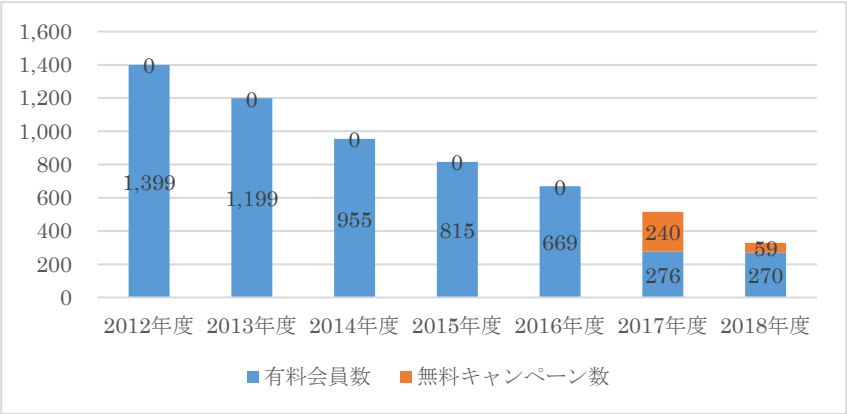
４．団体向け交流企画の立案

京都版通訳案内士京都市ビジターズホストと連携した外国人教育旅行向けツアーや、冒険教育（プロジェクトアドベンチャー）の手法を使ったユースホステルでの交流プログラム等を企画はしましたが、実施するまでには至りませんでした。

まいまい京都のノウハウを使った教育旅行向け企画につきましては、2019 年度に講座形式で試行実施する予定で、その次はユースホステル宿泊者に対しても提供していきたいと思います。

5. 京都府下のユースホステル会員数および利用状況

【ユースホステル会員数】



※　近畿ブロックユースホステル協議会の取り組みとして、2017 年 5 月より 2018 年 9 月まで近畿在住の 23 歳未満の青少年に対してユースホステル会員証の「登録無料キャンペーン」を実施。

【ユースホステル利用状況】

	ユースホステル名	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
1	宇多野ユースホステル	38,074 人	40,368 人	40,768 人	38,706 人	35,392 人
2	清水ユースホステル	1,781 人	1,239 人	1,265 人	931 人	692 人
3	美山ハイマートユースホステル	902 人	967 人	1,003 人	776 人	754 人
4	天橋立ユースホステル	2,710 人	3,234 人	3,126 人	3,010 人	2,760 人
5	はしうど荘ユースホステル	- - -	108 人	- - -	（閉館）	
合計		43,467 人	45,916 人	46,162 人	43,423 人	39,598 人

※　清水ユースホステルは 2015 年度 12 月中旬～3 月上旬まで休館。

※　はしうど荘ユースホステルは 2017 年 12 月末をもって閉館。

事業活動概況） Ⅱ．ユースホステル関連活動

（1） 目標と達成状況

■（目標）夕食提供数：22,000 食（摂取率 54.7%）
（結果）夕食提供数：19,321 食（摂取率 54.6%）
目標達成率：87.8%、対前年度：－2,123 食

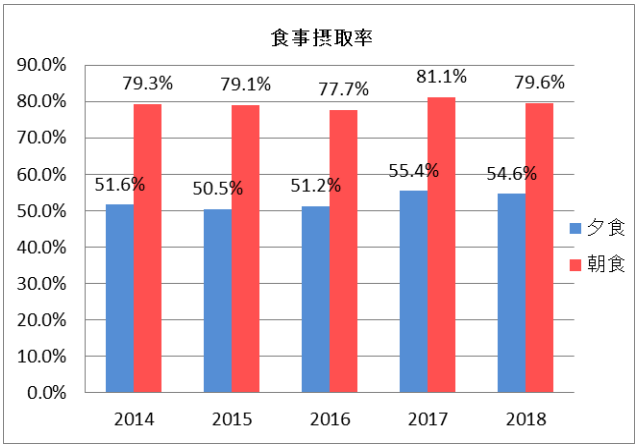
■（目標）朝食提供数：32,500 食（摂取率 80.8%）
（結果）朝食提供数：28,172 食（摂取率 79.6%）
目標達成率：86.7%、対前年度：－3,212 食

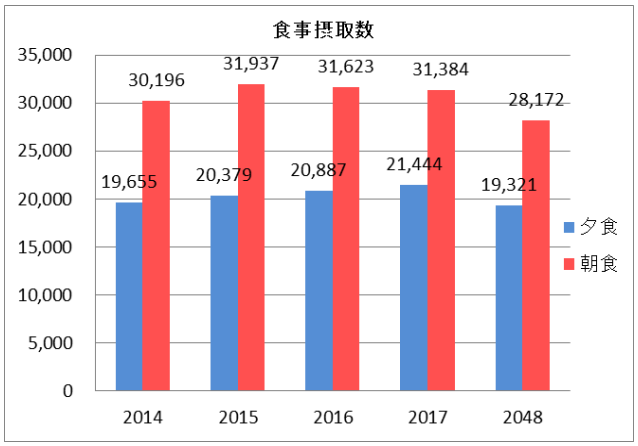
■（目標）アンケート満足度評価：4.50 点以上　※5 点満点
（結果）アンケート満足度評価：夕食 4.54 点（昨年度 4.43 点）
朝食 4.58 点（昨年度 4.47 点）

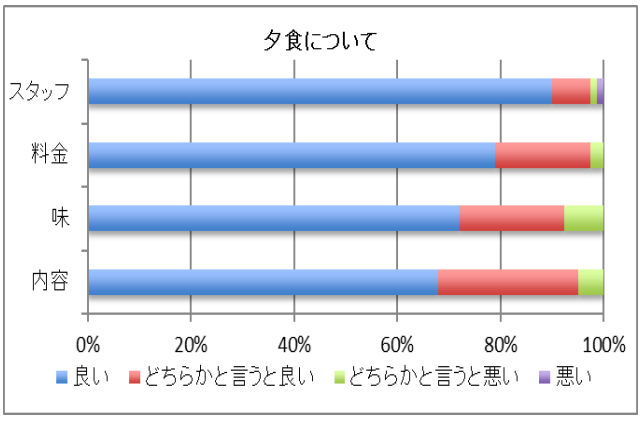
（2） トピックス

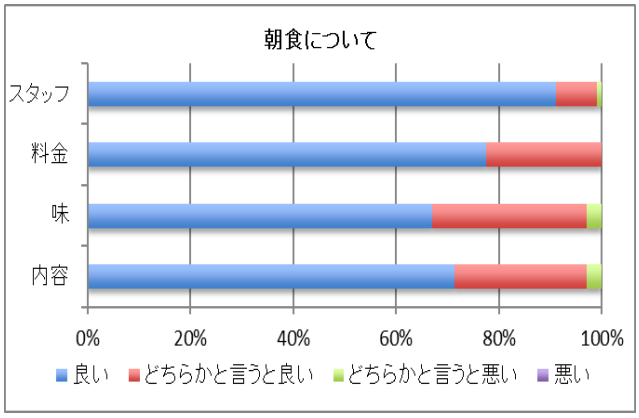
1．摂取数を伸ばすための取り組み

聞き取り調査やアンケートの結果を参考に、国や地域の違い、ニーズなどにも配慮した食事提供を行いました。これまで朝食をほとんど摂っていなかった中国の学生たちについて、彼らの好み等を調査し、改善して提供と案内を行ったところ、たくさんの学生たちが注文するようになりました。





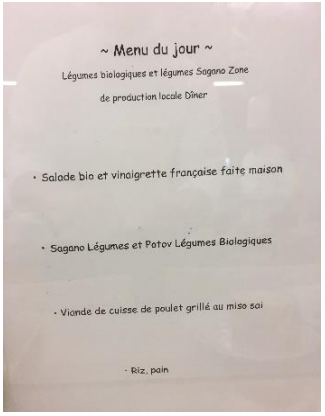




2. 食を楽しめるイメージアップの取り組み

京都米の提供やオーガニック野菜などを使用した地産地消のディナーを提供するなど、ユースホステルとして特色のある食事提供や環境への負荷に配慮した取り組みを一歩進めました。

また、寿司ディナーやおばんざい、カレーバイキングなど、楽しんでいただける食事の提供にも努め、地域の方々にもご利用いただきました。



3. 安心・安全の食の提供

ノロウイルスなどの食中毒を細心の注意を払い、安全な食事提供に努めました。スタッフ全員が食の安全やウイルスや菌など、食中毒などについてしっかりと理解し、決められた手順に従って業務を遂行するだけでなく、出入り業者の皆さんにも協力いただき、菌を持ち込まないなど安全な食事提供の環境維持に取り組みました。

食物アレルギーや宗教食についても可能な限り宿泊者のリクエストに応えるなど、より満足度の高い宇多野ユースホステルでの滞在に応えるために改善や工夫に努めました。

事業活動概況）Ⅲ. 宇多野ユースホステル

（1） 目標と達成状況

■（目標）年間宿泊実績：40,200 名

（結果）年間宿泊実績：35,392 名（目標達成率：88.0%、対前年度：－3,314 名）

■（目標）年間外国人宿泊実績：12,060 名

（結果）年間外国人宿泊実績：10,014 名（目標達成率：83.0%、対前年度：－475 名）

■（目標）年間青少年宿泊実績：26,130 名

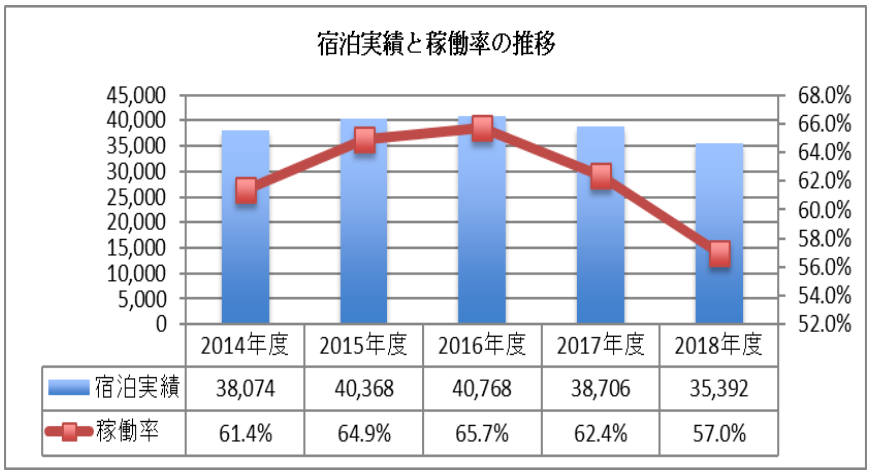
（結果）年間青少年宿泊実績：24,456 名（目標達成率：93.6%、対前年度：－472 名）

（2） トピックス

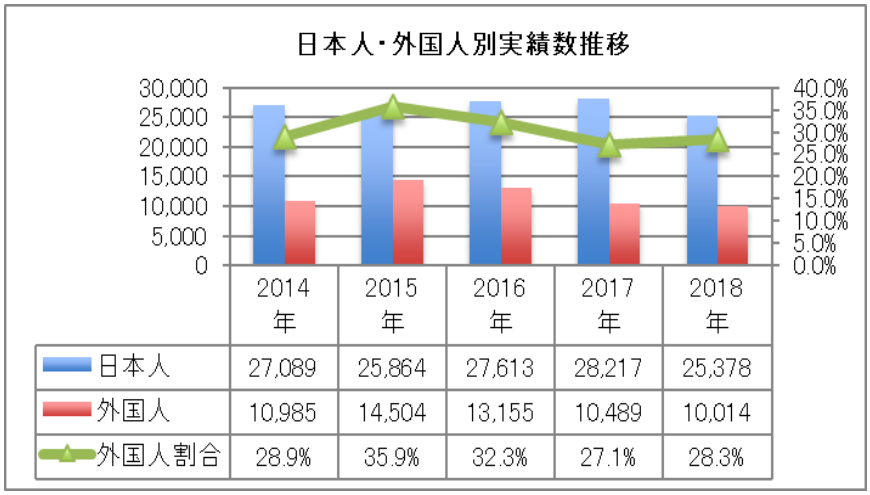
1. 国内宿泊者数が大きく減少

猛暑や台風など大きな災害発生などもあり、宿泊者数が大きく減少しました。特に日本人については、宿泊のキャンセルも重なった他、これまで減少が見られなかった 60 歳以上でも減少が見られるなど、利用ニーズや形態の変化も進み厳しい状態となっています。

宿泊者の安全を確保し、安心して滞在していただける施設運営と利用ニーズや形態の変化に対応した魅力や特色づくりにスピード感をもって取り組むなど、実績の回復に努めます。



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
宿泊実績	38,074	40,368	40,768	38,706	35,392
稼働率	61.4%	64.9%	65.7%	62.4%	57.0%



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
日本人	27,089	25,864	27,613	28,217	25,378
外国人	10,985	14,504	13,155	10,489	10,014
外国人割合	28.9%	35.9%	32.3%	27.1%	28.3%

2. 教育旅行は国内が減少、海外は増加

海外の教育旅行グループ・団体の利用が好調で、とくにフランスのグループには自然豊かな宇多野ユースホステルでの滞在が旅のスタイルに合っていると、リピーターが増えています。

国内教育旅行も常連校を多く確保できるよう調整し、多くの学校団体をお迎えしたいと考えています。

2018年4月-2019年3月

【学校団体利用実績】　※(　　)内は対前年度実績

	合計	内訳		
		小学校	中学校	高校
学校団体利用実績	98校(-5校)	31校(-1校)	53校(-4校)	14校(±0校)
泊数	134泊(-13泊)	32泊(-2泊)	84泊(-11泊)	18泊(±0泊)
述べ宿泊数	9,808名(-721名)	2,235名(＋146名)	6,745名(-906名)	828名(＋39名)
平均泊数	1.3泊(-0.08泊)	1.03泊(-0.03泊)	1.58泊(-0.13泊)	1.29泊(-0.09泊)
海外学生団体	98件(+7件)	上位国　(　)内は昨年度		
泊数	313泊(+80泊)	フランス22件、オーストラリア18件、アメリカ18件、中国10件		
述べ宿泊者数	7,826名(+1,607名)	(フランス21件、オーストラリア15件、アメリカ13件、韓国10件)		
平均泊数	3.19泊(+0.45泊)			

3. フランスからの利用が増加

フランスの団体利用が増えトップに、中国の大学生団体は規模が大きいため実績数が上がりました。イギリス、カナダからの常連校が増え、宇多野ユースホステルでの滞在中もイベントに参加するなど楽しんでいただけました。

また、グループ宿泊時は近くの JR の駅まで荷物送迎を行うことで、利便性を高めています。

【外国人国別トップ10】

順位	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数
1	台湾	1,703	韓国	1,649	中国	2,873	アメリカ	1,580	フランス	1,980
2	アメリカ	1,516	アメリカ	1,601	アメリカ	1,483	フランス	1,284	中国	1,965
3	韓国	1,440	台湾	1,295	韓国	1,376	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1,136	アメリカ	1,272
4	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1,011	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1,165	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1,176	中国	1,070	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1,095
5	フランス	702	中国	1,036	フランス	1,120	韓国	958	韓国	669
6	中国	606	オランダ	1,008	台湾	1,065	ドイツ	678	イギリス	476
7	ドイツ	511	フランス	963	ドイツ	704	台湾	615	カナダ	405
8	イギリス	457	ドイツ	837	イギリス	384	イギリス	493	台湾	269
9	タイ	333	デンマーク	628	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	315	カナダ	473	ドイツ	267
10	カナダ	314	イギリス	477	カナダ	282	ノルウェー	292	タイ	245
	その他	2,392	その他	3,845	その他	2,377	その他	1,910	その他	1,371
	合計	10,985	合計	14,504	合計	13,155	合計	10,489	合計	10,014

4. その他

社会貢献と地域との連携

▲ドイツ人ヘルパーたち

●海外青少年の活動受入

- ドイツ IJGD よりドイツ人青少年を受入
- ワーキングホリデー青少年の受入
- 台湾南台科技大学より日本語学科の学生実習生受入
- アメリカ・ノーステキサス大学よりインターン受入

●国際交流アレンジ

- 9 月 27 日オーストラリア Sanderson Middle School　宇多野小学校と交流会
- 9 月 27 日オーストラリア St.Marry s　College　嵯峨野高校と交流会
- 9 月 28 日オーストラリア Windaroo Valley State High School　常盤野小学校と交流会
- 10 月 3 日オーストラリア Willyama Hiigh School　宇多野小学校と交流会

  その他、ユースホステルでの宿泊者同士の交流を随時アレンジしています。

▲宇多野小学校

▲常磐野小学校

▲嵯峨野高校

●青少年支援活動

- 地元中学生「生き方探求・チャレンジ体験」職場体験の受入

  →　七条中学校、高雄中学校、蜂ケ岡中学校、太秦中学校、双ヶ岡中学校、教育大付属中学校
- 鳴滝総合支援学校の就労体験支援
- 若者サポートステーション就労支援受入

●その他、ユースホステル職員による地域活動

宇多野小学校学校運営委員会、鳴滝総合支援学校運営委員会、右京区行政推進会議オブザーバー、右京ふれあい文化会館活性化協議会、右京区まちづくり区民会議、歴史回廊運営協議会　　他

▲地元のお祭りに飛び入り参加

▲アラスカウルトラクイズ

営業広報等

- VISIT JAPAN トラベルマート 2018　出展　海外エージェントとの商談
- 京都市海外拠点事務所へのアプローチ
- 海外 JNTO 事務所へのアプローチ
- 国内大規模ユースホステルと連携した広報活動
- 予約オンラインサイトでの売り出しと管理
- 小・中学生・高校生グループ宿泊半額キャンペーン実施
- 大学生グループ朝食無料キャンペーン実地
- 各大学クラブやスポーツ団体などへのチラシ・パンフレット送付

  その他、営業活動を随時実施

●オンラインサイト評価

- Trip Advisor：「とても良い 4.5」
- agoda　　：「非常に満足 8.5」
  施設の状態/清潔さ「最高」9.2
- 楽天トラベル：「総合評価 4.0」
- Google　　：「総合評価とても満足 4.3」
- Booking.com：「Guest Review Award 8.6」

●平成 30 年度　京都らしい宿泊施設表彰（地域との連携での表彰）

事業活動概況）Ⅳ．天橋立ユースホステル

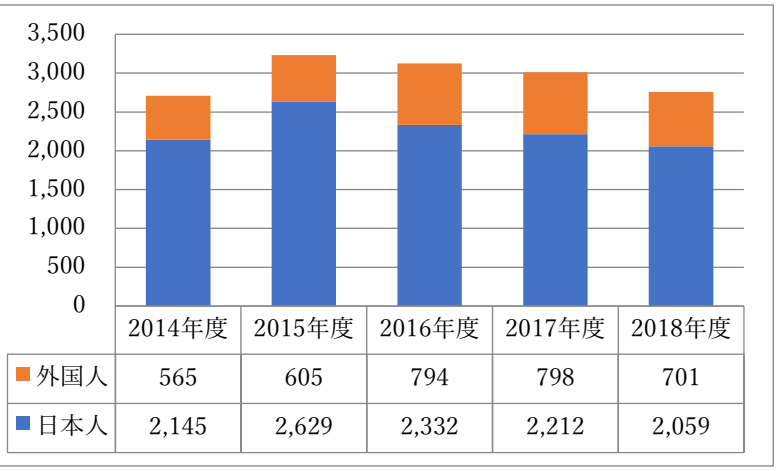
（１） 目標と達成状況

■（目標）年間宿泊実績：3,400 名

（結果）年間宿泊実績：2,760 名（目標達成率：81.2%、対前年比：－250 名）

■（目標）年間外国人宿泊実績：850 名

（結果）年間外国人宿泊実績：701 名（目標達成率：82.5%、対前年比：－97 名）



【外国人国別ＴＯＰ10】

	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		**2018 年度**	
	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	**国名**	**泊数**
1	アメリカ	61	台湾	102	台湾	162	台湾	217	**台湾**	**265**
2	ドイツ	59	フランス	78	フランス	76	フランス	69	**フランス**	**47**
3	韓国	53	ドイツ	66	韓国	52	香港	64	**韓国/タイ**	**42**
4	フランス	51	中国	50	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ/中国/ブータン	48	ドイツ/韓国	61	**中国**	**41**
5	台湾	41	イギリス	43	ドイツ	46	中国	54	**ｵｰｽﾄﾗﾘｱ**	**32**
6	マレーシア	41	香港	34	ｵﾗﾝﾀﾞ/香港	28	タイ	41	**アメリカ**	**27**
7	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ	38	スイス	29	タイ	27	アメリカ	36	**ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ**	**26**
8	香港	34	韓国	27	ｲﾀﾘｱ/ｽﾍﾟｲﾝ	25	マレーシア	27	**香港**	**24**
9	中国	34	アメリカ	26	アメリカ	24	ブータン	24	**ドイツ**	**23**
10	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	23	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ／ｶﾅﾀﾞ	16	マレーシア	19	イギリス	19	**ブータン**	**20**

■（目標）（次年度以降継続の条件が整えば）耐震補強及び改修に向けた準備を進める。

（結果）宮津市の財政難から耐震補強及び改修に関わる補助金等についての支援がなくなり、また、運営赤字の補填が難しい状況から次期指定管理による運営を終了する事を決定。その後の協議で、次年度は宮津市から施設の無償貸与による協会独自での運営を行うことで合意。2019 年度より施設貸与による運営に変更となりました。

（２）トピックス

１．収益改善に向けた取り組み

新しいスタッフで運営をスタートした 2018 年度は、「海の京都」としての PR 活動による丹後エリアの認知度向上と伊根町の人気が国内外でも盛り上がりを見せる中、予約電話への対応の充実等にも取り組み、4 月～6 月の第 1 四半期では、宿泊者数が前年度比 130%となる順調な出だしとなりました。

しかしながら、7 月の西日本を襲った豪雨は地域の足となる京都丹後鉄道や観光名所傘松公園のケーブルカーを長期運休に追い込み、伊根町へ通じる国道が通行止めになるなど甚大な被害を出し、ユースホステルも予約の減少やキャンセル等、大きな影響を受けました。（7 月は例年の宿泊実績の約 50%、外国人に至っては 2017 年度 152 名が 2018 年度は 7 名）

その後は猛暑、台風と自然災害に泣かされ、特に上半期は非常に厳しい年となりました。

そういった中でも、施設としての満足度を高める取り組みとして、屋外にくつろぎスペースの製作や BBQ プランの提供、当日申込みへの柔軟な対応、宿泊者のニーズに応える洋朝食の提供など、運営の工夫に取り組み摂取数が増加しました。

また、閑散期に予め休館日を設け、職員が休めるようメリハリのある運営を心掛けました。

２．地域資源を活用した取り組み

前年度に引き続き、天橋立アクティビティセンターと連携したシーカヤック体験プラン、養老漁港での定置網漁体験プランを用意しました。また敷地内でのタケノコ収穫体験もご家族連れには好評でした。

新規のニュージーランドからの高校生グループの受け入れ時には、地域の小学校への交流訪問をアレンジし、当日はスタッフも同行して異文化交流プログラムをサポートしました。

３．耐震補強・改修および今後の運営の検討

次年度に向けては、これまでの指定管理での運営が終了し、施設の無償貸与による協会での運営に切り替わることになりました。

今後は、協会スタッフでの運営だけではなく、収支の改善を図る運営業務の委託等による方法も検討しながら、京都北部のユースホステル拠点として持続可能な運営維持につなげることができるかを見極めながら、引き続き 2019 年度の運営に取り組みます。

事業活動概況）Ⅴ. 組織運営

（1） 目標と達成状況

■ 多様な雇用形態の整備

a. 勤務日数や勤務時間数に幅を持たせた雇用形態の検討

b. 外国人の職員雇用の検討

c. 労働環境や各種処遇の見直し

多様な人材確保手段の検討や働きやすい労働環境の見直し、長期的に業務に従事してもらうための処遇改善等を目標としていましたが、十分な検討までにも至りませんでした。

外国人の職員雇用は、現状の職員の業務や役割をそのまま当てはめると雇用するハードルは高くなるため、付与する業務や役割の工夫が必要となっています。

職員が入れ替わることにより発生する様々な負担を減らすため、またパートやアルバイトも含めスタッフを確保することが年々難しくなりつつあるため、長く業務に従事してもらえる環境整備について、課題を整理し改善に取り組んでまいります。

財務状況

（１）概　要

１．決算概況

2018 年度の決算は、当期経常増減額（経常利益）が－3,339,568 円と大変厳しい結果となりました。その一番の要因は、基幹事業である宇多野ユースホステルの宿泊者数の減少でした。

宇多野ユースホステルの宿泊実績が前年度より 3,314 名減少し 35,392 名となり、利用料金制で運営する宇多野ユースホステル会計の当期経常増減額は、5,515,160 円の赤字となりました。

また、宇多野ユースホステルでの食事提供は宿泊者数減少に伴い提供数も減少（前年度比：夕食 90.1%、朝食 89.8%）しましたが、支出では原材料費や法人税、追加納付金などの経費負担が減少し、当期経常増減額（7,077,323 円）は前年度に対して 4.0%の減少に納まりました。

天橋立ユースホステルに関しても宿泊者数が前年度よりも 250 名減少し、宮津市からの指定管理料 1,233,786 円を加えても 1,807,331 円の赤字となりました。

一方で、一般会計においては 50 周年記念事業のための費用計上により赤字予算としていましたが、当初予定していた費用をかけずに行えたため、負担を減らす（対予算：74.5%）ことが出来ました。

今後、健全な組織運営を継続して行うためにも、ユースホステルの実績回復による収入の増加と業務の効率化・簡略化による経費の削減により、財務状況を改善し、適正な運営体制の下で計画する事業を進めて行きたいと思います。

［経営実績の推移］

科　　目	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
経常収益（収入）	196,946,399	220,025,139	217,538,436	214,339,353	198,404,625
事業推進業務	60,623,410	63,716,757	63,703,216	67,027,118	61,027,987
指定管理業務	125,876,710	144,958,944	143,549,047	137,876,004	127,088,381
組織運営業務	10,446,279	11,349,438	10,286,173	9,436,231	10,288,257
経常費用（費用）	186,432,548	212,862,897	211,008,692	210,018,271	201,744,193
事業推進業務	53,149,431	56,219,315	57,403,144	58,758,578	52,862,186
指定管理業務	121,991,861	143,577,163	142,175,295	139,642,199	134,873,577
組織運営業務	11,291,256	13,066,419	11,430,253	11,617,494	14,008,430
当期経常増減額（経常利益）	10,513,851	7,162,242	6,529,744	4,321,082	- 3,339,568
経常外増減額（経常外利益）	0	0	- 5	- 1	- 869,935
当期正味財産増加額（純利益）	10,513,851	7,162,242	6,529,739	4,321,081	- 4,209,503
正味財産期末残高	78,263,945	85,426,187	91,955,926	96,277,007	92,067,504

※ 2015 年度より宇多野ユースホステルは利用料金制での運営となりました。

２．公益目的財産額

2018 年度の公益目的のための支出額は、青少年育成事業で 3,172,741 円、ユースホステル運営事業で 8,655,131 円となり、合計で 11,827,872 円となりました。

最終的に 2018 年度期末時点の公益目的財産額は、38,829,226 円となりました。

［公益目的事業の推移］

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
公益目的財産額（期首）	51,297,844	54,189,392	53,968,351	53,845,519	50,657,098
公益目的財産収支差額	2,891,548	- 221,041	- 122,832	- 3,188,421	- 11,827,872
公益目的財産額（期末）	54,189,392	53,968,351	53,845,519	50,657,098	38,829,226